

滝の三清水

《滝》

滝地区には、天神山の清水、あけび山の清水、石妻の白清水がある。

天神山の清水は、安政年間に百日照で病人や死人が出た大旱魃の年があったが、全然水が涸れることなく、村人ののをうるおしたという。

石妻山の石沼八幡神社にある石妻の白清水は、桓武天皇の御代、坂上田村磨がこの清水で身を清めて、戦勝祈願をしたと伝えられている。

この清水は、雨の日が続くと、白い米とき水のようなものが出るので、白清水といわれた。

あきび山の清水は旱天でも涸れることなく、こんこんと湧き出て、町の水道源となっている清水である。

あきび山の清水を飲みたいという病人は、決して助からないと言われ、末期の水であった。

(話者 江連 栄)

石妻の白清水

